



保健だより 2月



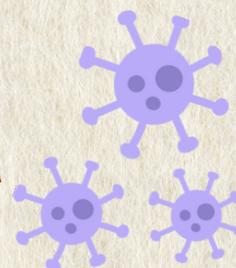
R8.2.3
太田一高附属中
保健室

2月に入り、寒さが一段ときびしくなってきましたね。今週に入り、インフルエンザB型にかかる人が複数人出ています。昨年11月には、インフルエンザA型の感染が拡大し、学校閉鎖になるということがありました。A型とB型にはどのような違いがあるのでしょうか？



みんな疑問ありませんか…？

インフルエンザ Q&A



Q インフルエンザは何種類あるの？

A インフルエンザは大きく分けて、A型・B型・C型の3種類があります。まず、C型は症状が風邪とほぼ同じであり、感染していることに気が付かないことも多いです。また、一度かかったらもう二度とかかることはありません。一方、A型とB型はそれぞれ次のような特徴があり、感染拡大の恐れがあるため要注意です。

	A型	B型
ウイルスの特徴	変異型を作りやすい (毎年流行しやすい)	変異型を作りにくい
症状の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・38～40度の高熱が出る ・強い寒気や震え、全身の筋肉痛や関節痛が出る 	<ul style="list-style-type: none"> ・熱がそれほど高くない(微熱)場合もある ・腹痛や下痢などの胃腸症状が現れやすい
流行時期	11月～2月頃	2月～4月頃

Q A型とB型両方にかかることはあるの？

A ウイルスの種類が異なるため、A型に感染・回復した後でも、同じシーズン中にB型に感染する可能性は十分にあります。

インフルエンザに一度かかったからと油断せず、引き続き予防対策を行うこと(手洗い・マスク等)が重要です。

症状は個人差があり、あくまで参考程度…とにかく大切なのは、体調の悪いとき、早めに休養と受診をすることです!

